

そよ風

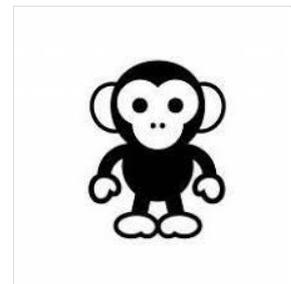
第4号

今治市立立花中学校

なぜ、人間だけが地球上で繁栄することができたのか？

長い地球の歴史の中で、多種多様な生物が進化、絶滅を繰り返してきました。その中で、私たち人間だけが、地球上で文明を発展させ、人口を増やしているのはなぜなのでしょう？

人間に一番近いDNAをもつといわれている生物にチンパンジーがいます。諸説あり、多少の誤差はありますが、人間とチンパンジーのDNAの塩基配列は98.8%同じだそうです。



チンパンジーの知性の研究をされている松沢哲郎氏によると、チンパンジーと、私たち人間の違いは「想像する力」だそうです。チンパンジーは未来を想像しませんが、人間は「未来を想像するちから」があるから希望をもてる。「未来のために毎日をよりよく生きよう」と思うのが人間で、その希望を実現させるために進化してきたと言われています。

また、他の説によれば、チンパンジーの子供は母親によってのみ育てられるが、人間は母親だけでなく父親や、子供を取り巻く多くの人によって育てられるため、人間には「思いやり」や「愛」が備わっているということです。

話が少し飛躍するかもしれませんが、多くの種族の中で、私たち人間だけが、「未来や周りのことを創造する力」をもち、「相手を思いやり、慈しみ、愛することができる」のです。だからこそ、人口を増やすことができ、自分と違う見た目や考え方を受け入れることができ、文化や科学技術など、多種多様な面で進化を遂げてきました。もし、人間が、他の生物のように、自分が生きていくためだけに食料を求め、同じ種族同士で争いを続けていたら、現在のような発展はなかったでしょう。



現在、私たち人間は地球上でいろいろな力を持ち、それが当たり前のように過ごしています。しかし、もう一度、人間だけに与えられた力に目を向け、周りの人に思いやりをもつことが大切だと思います。社会が急激に変化している今だからこそ、「相手を思いやり、慈しみ、愛することができる力」を大切にしていきたいですね。

チンパンジーと人間との違いは想像するちから | 松沢哲郎 ・ 動物心理学者、霊長類学者

mammoth No.26 「MONKEY」 (2013年3月15日発行)